

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		武蔵野大学		設置者名		学校法人 武蔵野大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
文学部	日本文学文化学科	183人	中一種免(国語)	平成23年度	152人	24人	22人	3人	
			高一種免(国語)	平成23年度					24人
			高一種免(書道)	平成23年度					
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	220人	中一種免(英語)	平成23年度	192人	7人	6人	0人	
			高一種免(英語)	平成23年度			7人		
工学部	数理工学科	60人	中一種免(数学)	平成27年度	-	-	-	-	
			高一種免(数学)	平成27年度			-		
	環境システム学科	70人	中一種免(理科)	平成27年度	-	-	-	-	
			高一種免(理科)	平成27年度			-		
教育学部	児童教育学科	200人	幼一種免	平成23年度	144人	138人	106人	65人	
			小一種免	平成23年度			77人		
			中一種免(国語)	平成23年度			14人		
			高一種免(国語)	平成23年度			14人		
			高一種免(書道)	平成23年度			10人		
			中一種免(英語)	平成23年度			14人		
			高一種免(英語)	平成23年度			14人		
			中一種免(理科)	平成25年度			-		
			高一種免(理科)	平成25年度			-		
			中一種免(保健体育)	平成26年度			-		
			高一種免(保健体育)	平成26年度			-		
看護学部	看護学科	120人	養教一種免	平成18年度	97人	6人	6人	1人	
入学定員合計		853人	合計		585人	175人	316人	69人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

大学名	武蔵野大学(大学院)		設置者名	学校法人 武蔵野大学				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
文学研究科	日本文学専攻	7人	中専免(国語)	平成26年度	-	-	-	-
			高専免(国語)	平成26年度			-	
			高専免(書道)	平成26年度			-	
言語文化研究科	言語文化専攻	55人	中専免(英語)	平成22年度	14人	0人	0人	0人
			高専免(英語)	平成22年度			0人	
人間社会研究科	人間学専攻	30人	中専免(宗教)	平成11年度	13人	0人	0人	0人
			高専免(宗教)	平成11年度			0人	
			高専免(公民)	平成11年度			0人	
教育学研究科	教育学専攻	10人	小専免	平成26年度	-	-	-	-
			中専免(国語)	平成26年度			-	
			高専免(国語)	平成26年度			-	
			高専免(書道)	平成26年度			-	
			中専免(英語)	平成26年度			-	
			高専免(英語)	平成26年度			-	
			中専免(理科)	平成26年度			-	
			高専免(理科)	平成26年度			-	
入学定員合計		102人	合計		27人	0人	0人	0人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

大学名	武蔵野大学(通信)		設置者名	学校法人 武蔵野大学				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
教育学部	児童教育学科	50人	小一種免	平成25年度	-	-	-	-
			中一種免(国語)	平成25年度			-	
			高一種免(国語)	平成25年度			-	
			高一種免(書道)	平成25年度			-	
			中一種免(英語)	平成25年度			-	
			高一種免(英語)	平成25年度			-	
入学定員合計		50人	合計		-	-	-	-
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成27年11月11日（水）

実地視察大学：武蔵野大学

実地視察委員：渋谷治美委員，太田光洋委員，高橋純委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、おおむね問題無く実施されている。
- ただし一部の教育課程について、「2.」で指摘するように、教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等の観点から是正すべき点を確認されたため、その点については、速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 大学としての教員養成に対する理念・構想を示しているが、それを個々のカリキュラムに明確に示していただき、授業科目名称、授業内容を含めた教職課程の検討・統一を図る全学的な組織と、学生への教職支援に特化した全学的組織を設ける等、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目や、科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目が3分の1程度あるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように、内容を再度検討すること。なお、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかを、シラバスの授業計画から確認できるように是正すること。
- 「各教科の指導法」に関する科目について、学習指導要領、幼稚園教育要領、及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領等を参考書又はテキストとして含め、科目の趣旨に沿った内容を行っていることがシラバスの授業計画から明確に確認できるように是正すること。
- みなし専任教員の配置も含め、複数の教職課程の必要配置専任教員について、適切に配置されていない状況が確認された。また、幼一種免及び小一種免の「教育相談」について、貴学のカリキュラムの場合、共通開設を行うことはできないため、教職課程認定基準の理解に努めていただき、教職課程認定基準を満たすように速やかに是正すること。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。なお、やむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、教職研究センター等大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価となるよう努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職を目指す学生全てに対して、一定の水準以上の教職指導が実施されるように、貴学として現在御検討中の学生が活用しやすい相談窓口の設置も含め、体系的かつ組織的に指導していくための体制となるよう努めていただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 教育インターンシップや各種ボランティア等、大学全体として教育委員会と連携し、積極的に取り組んでいることが確認された。今後、地元教育委員会・学校との連携・協力体制をより一層強化し、単位化も含めて御検討いただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- ピアノレッスン室の数も多く、理科室においては電子黒板を設置する等ICT教育を意識した設備を完備されており、施設の充実を確認された。
- 図書については、両キャンパスにおいて、多種多様な教科書、学習指導要領等の配架や、子ども・子育て支援新制度に伴って、幼保連携型認定こども園関連書籍も含めた新刊の充実を図っていただきたい。
- 各キャンパスにおいて取得可能な免許種は異なるが、全学部の1年次生が本部キャンパスにおいて学習することも踏まえ、本部キャンパス図書館においては、全免許種にかかる教科書、学習指導要領等を配架すること。

7. 通信課程等

- 大学の教員養成理念としても掲げられている「専門性のある教員養成」として、教科指導法では模擬授業に力を入れているということなので、質の高い教員養成、模擬授業の担保という点からも、必要な授業で必要な時間のスクーリングを組み立てていただきたい。

8. その他特記事項

- 全学共通基礎課程として設置されている「武蔵野BASIS」をはじめ、先進的な取組をされている点は評価できる。それをより一層教員養成に活かしていただき、教員養成の水準の維持向上に努めていただきたい。